

令和 7 事業年度

決 算 報 告 書

第 2 2 期事業年度

自 : 令和 7 年 4 月 1 日

至 : 令和 8 年 3 月 3 1 日

国立大学法人東北大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	45,720	48,088	2,367	(注1)
うち補正予算による追加	—	1,616	1,616	
施設整備費補助金	3,521	2,825	△ 695	(注2)
うち補正予算による追加	—	—	—	
補助金等収入	10,512	8,861	△ 1,651	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	30	56	26	
自己収入	58,461	62,418	3,956	
授業料、入学科及び検定料収入	9,277	8,698	△ 579	(注4)
附属病院収入	48,325	50,393	2,067	(注5)
財産処分収入	7	—	△ 7	
雑収入	850	3,326	2,476	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	43,182	49,796	6,614	(注7)
引当金取崩	961	1,114	152	
長期借入金収入	6,864	44,094	37,230	(注8)
目的積立金取崩	2,407	2,025	△ 382	(注9)
引当特定資産取崩	—	—	—	
出資金	—	1,351	1,351	(注10)
国際卓越研究大学研究等体制強化助成	15,345	12,003	△ 3,341	(注11)
計	187,008	232,635	45,626	
支出				
業務費	104,704	106,411	1,706	
教育研究経費	59,479	58,406	△ 1,073	(注12)
うち設備災害復旧事業	359	3	△ 356	
診療経費	45,224	48,004	2,779	(注13)
施設整備費	10,415	7,167	△ 3,248	(注14)
うち施設災害復旧事業	—	27	27	
補助金等	10,246	8,274	△ 1,971	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	43,182	41,314	△ 1,868	(注16)
長期借入金償還金	3,113	3,329	216	(注17)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
出資金	—	816	816	(注18)
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	15,345	11,998	△ 3,346	(注19)
計	187,008	179,312	△ 7,696	
収入－支出	—	53,322	53,322	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、当初予算段階では予定していなかった補正予算が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が2,367百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、(片平)ライフライン再生(特殊空調設備)など一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が695百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、受入の減等により、予算額に比して決算額が1,651百万円少額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免交付金が1,199百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学科及び検定料収入については、授業料等減免費交付金の増等より、予算額に比して決算額が579百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、外来患者数及び入院・外来単価の増等により、予算額に比して決算額が2,067百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、学校財産貸付料収入の増等により、予算額に比して決算額が2,476百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受入の増等により、予算額に比して決算額が6,614百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、民間金融機関から長期借入による資金調達を実施したこと等により、予算額に比して決算額が37,230百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が382百万円少額となっております。
- (注10) 出資金については、翌年度以降に実施する計画としていた一部事業を今年度実施したこと及び株式売却に伴う分配金の受入等により、予算額に比して決算額が1,351百万円多額となっております。
- (注11) 国際卓越研究大学研究等体制強化助成については、一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が3,341百万円少額となっております。
- (注12) 教育研究経費については、経費の削減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が1,073百万円少額となっております。
- (注13) 診療経費については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,779百万円多額となっております。
- (注14) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,248百万円少額となっております。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,971百万円少額となっております。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費等の繰越等により、予算額に比して決算額が1,868百万円少額となっております。
- (注17) 長期借入金償還金については、(注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が216百万円多額となっております。
- (注18) 出資金については、翌年度以降に実施する計画としていた一部事業を今年度実施したこと等により、予算額に比して決算額が816百万円多額となっております。
- (注19) 国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費については、(注11)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,346百万円少額となっております。